

重点施策マネジメントシート  
(定住自立圏共生ビジョン掲載事業含む)

平成 28 年度 事後・決算

平成

資料1-3

重点施策	103	故郷創出プロジェクト	主管課		担当班	
基本目標	3	ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集うまちづくり	関係課	① 秘書広報課 ④ 都市整備課	② 企画政策課 ⑤	③ 農水産課 ⑥

(1) 施策の目標指標、KPI

① 目標指標	数値目標		基準値	目標値 (31年度)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)
	3	人口の社会増減	-27人 (25年度)	増減ゼロ	1人	233人			

  

② KPI	重要業績評価指標 (KPI)		基準値	目標値 (31年度)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)	関連する定住自立圏 共生ビジョン掲載事業
	9	ホームページのアクセス件数 (重3、施25)	865,305件 (26年度)	1,000,000件	844,763件	759,801件				
10	累計転入世帯数 (重3、施16)	67世帯 (26年度)	267世帯	112世帯	159世帯				(31)移住・定住促進事業	
11	幽学の里で米作り交流事業参加者数	1,137人 (26年度)	1,200人	1,300人	1,252人				(25)医療福祉・食・交流の郷づくり事業	

(2) 重点施策に関する検証

① 施策の進捗状況	完了	0.0 %	順調	62.5 %	概ね順調	25.0 %	停滞	12.5 %	実施困難	0.0 %
② (1)数値目標・KPIの実績値と(2) - ①の状況の理由等	数値目標	【達成】平成26年は-113人の社会減であったが、平成27年には転入超過にちなみ、平成28年は233人の増となった。要因は複雑なため端的に特定できないが、転出に歯止めがかかったことが1つの要因と考えられる。周辺自治体は減少基調が続いている一方で、旭市は減少の一途をたどっていないことから、市のポテンシャルによるものや一定の事業効果等が得られていると考えられる。また、これからも市の魅力発信や人の定着における施策等を引き続き行うことにより社会増を維持することを目指す。								
	KPI	KPI 9【停滞】ホームページのアクセス数はPC版とスマホ版の合算であるが、PC版は減少しスマホ版については微増している。必要な情報はスマホからフェイスブック等を閲覧したり、ポスターやチラシ等の紙媒体での周知が多くなったりして、ホームページの閲覧以外でも情報を入手しやすくなったためと考えられる。 KPI 10【概ね達成】定住促進奨励金交付事業としては、おおむね順調で、累計転入世帯数は見込みどおりとなっている。転入世帯の前住所地の内訳は、東総地域(桃子市、匠瑛市、香取市)が53.2%、東総地域を除く県内と県外がそれぞれ23.4%である。 KPI 11【達成】幽学の里で米作り交流事業としては、目標値を達成している。受け入れ態勢として現状目標値程度で進めていきたい。								
③数値目標・KPI達成に向けた問題、「現況と課題」対応に向けた問題、「方向性」実現に向けた問題	旭市について深く知りたいと感じて、ホームページで市の情報を閲覧しようと感じてもらう必要がある。定住促進奨励金交付事業のKPIについては、おおむね順調であるが、市外(特に東総地域以外)へ向けた定住促進奨励金制度のPRが十分ではない。幽学の里で米作り交流事業としては、毎年おおむね目標値であるが、参加者の要件に住所などの制限を設けていないため、必ずしも都市住民からの参加があるとは限らない。都市景観の形成については、他地域では味わえない豊かな自然を持ち合わせた旭を市民に再認識してもらうとともに、市外の人にも本市の魅力を認識してもらい、人の還流をつくる必要がある。									
④数値目標、KPI達成に向けた重点課題	広報紙、フェイスブック、SNSなどの媒体とHPの情報をリンクすることで、互いに情報を共有・補完しアクセス数の増加を図る必要がある。定住促進奨励金交付事業は市外へ向けた定住促進奨励金制度のPRを実施する必要がある。幽学の里で米作り交流事業については、都市部への情報も発信する必要がある。景観形成は、関係法令による規制や許認可行為にも隔りがあるため、全ての法令を遵守し、市として統一した景観ビジョンを描けるかが重点かつ困難な課題である。									
⑤次年度施策の方針	市の魅力等を効果的に発信(シティプロモーション)するため、ホームページや広報紙、SNS、スマホアプリ等の媒体を利用して情報の露出を高めるとともに、それぞれの媒体が得意とするユーザーがHPにアクセスするような情報提供をしていく。ホームページ(あさびーアール部)を充実し、本市の特産品や観光に関する情報を併せて発信する。また、あさびーの着ぐるみの貸出しを行うとともにデザインの利用を促進し、「あさびー」への関心を高める。また、ふるさと応援寄附に関しては、お礼として特産品等を贈呈することにより、市の魅力を発信し、知名度の向上を図る。また、交流人口の拡大に寄与等するために、寄附者が旭市を直接訪れる体験型メニューの返礼品を充実させる。流入人口の増加や定着支援として行っている定住促進奨励金交付事業について、国・県の施設や事業を活用しながらPRしていく。また、地域公共交通網形成計画にもとづき、地域公共交通再編事業を実施するための計画である地域公共交通再編実施計画を策定する。幽学の里で米作り事業については、米作り体験を通じて、参加した都市住民に本事業の楽しさを感じてもらい、口コミによる都市住民参加者の拡大を図る。また、市全体での景観形成を具体的に描くための調査・研究を行う。									
⑥次年度施策の方針に関連する事務事業名										
3300	インターネット活用事業	4510	定住促進奨励金交付事業	3650	旭市イメージアップキャラクター活用事業	22400	農業振興事務費			
3620	ふるさと応援寄附推進事業	3100	企画事務費	38182	都市景観の形成	41197	地域公共交通の利便性の向上			

(3) 当該重点施策に関連する事業について(合計事業費)

事業費 合計	単位	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (決算)	29年度 (決算)	30年度 (決算)	31年度 (決算)	合計	⑥' その他 事務事業
		千円	39,960	27,265	32,726				
一般財源 合計		6,460	6,765	6,357				13,122	

意見記入欄

・定住促進奨励金について、市外からの定住を促進するためにPRしてみたい。(例:幽学の里で米づくり事業でPRする。)  
 ・昨年末に協同組合の思想と実践がユネスコの無形文化遺産に登録されたが、大原幽学が日本で最初に農業協同組合を作ったということで、世界的にPR出来るのではないかと。  
 ・大原幽学記念館では、桜や椿が綺麗である。種類がわかる看板等を設置してPRしたらよいのではないかと。  
 ・旭市のよさを市民が理解していない。市民に意識してもらうことが大事である。  
 ・まっふる旭に施設の割引券等のクーポン券を折り込んでみてはどうか。

備考欄

・幽学の里で米づくり事業などのイベント等で、市外からの参加者にパンフレット等を配付し、市外の方へ定住促進をPRしていく。  
 ・大原幽学記念館については、外国からの来館者もあることから外国語のチラシやホームページなどでPRできるように検討していく。  
 ・次年度から「(仮称)大原幽学遺跡整備計画検討委員会」を立ち上げ整備方法を検討していく。  
 ・ホームページやフェイスブックでの情報発信に加え、旭市の公式インスタグラムを開設し、市内の風景や、食べ物、イベント、ニュースなど「#あつたか旭」で投稿されたものを公開している。また、千葉日報が運営する「ちばトピ!チャンネル」に「あつたか旭チャンネル」を開設し発信しているが、これらの内容を充実させ、フォロワーを増やして行き、周知を図る。現在、シティプロモーション専用ウェブサイトを作成中であり、その中で市の魅力をPRしたり、イベント等を利用して市民にPRしていきたい。また、指定文化財情報については、PRの方法を検討していく。  
 ・まっふる旭の発信先及び割引対象施設との調整等が必要であり、実施に向けて検討していく。

(4) 重点施策関連事業

No.	主な事業	事務事業		単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	備考欄
					(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	
1	○	3300	インターネット活用事業	事業費 一般財源	千円	2,937 2,937	2,412 2,412	1,824 1,824			
		成果指標	ア ホームページの閲覧数 イ フェイスブックのリーチ数		件 件	865,305 81,299	844,763 248,157	759,801 265,175			
2	○	4510	定住促進奨励金交付事業	事業費 一般財源	千円	33,500 0	22,500 2,000	23,500 0			
		成果指標	ア 転入者(定住促進奨励金利用)		人	166	120	124			
3	○	3650	旭市イメージアップキャラクター活用事業	事業費 一般財源	千円	2,486 2,486	1,111 1,111	2,921 52			
		成果指標	ア あさピーアール部(HP)アクセス数 イ デザイン使用承認件数(累計)		回 件	11,692 31	12,403 52	12,940 76			
4	○	22400	農業振興事務費(幽学の里で米づくり事業)	事業費 一般財源	千円	1,000 1,000	1,000 1,000	1,000 1,000			
		成果指標	ア 旭市の農水産物を購入(消費)した参加者 イ イベントへの参加延べ人数		人 人	400 1,150	450 1,300	480 1,252			
5	○	3620	ふるさと応援寄附推進事業	事業費 一般財源	千円	0 0	237 237	3,390 3,390			
		成果指標	ア 寄附(当該年度収納)額		万円	-	71	1,848			
6	○	3100	企画事務費(観光大使)	事業費 一般財源	千円	37 37	5 5	91 91			
		成果指標	ア 市関連イベント参加回数(延べ数) 観光大使委嘱以前からイベント参加歴あり		回	6	7	10			
7	○	38182	都市景観の形成	事業費 一般財源	千円	0 0	0 0	0 0			
		成果指標	ア 景観行政団体への移行 イ 景観条例策定		- -	- -	0 0				
8	○	41197	地域公共交通の利便性の向上	事業費 一般財源	千円	0 0	0 0	0 0			
		成果指標	ア 市内バス路線数(コミュニティバス及びバス事業者路線数) イ コミュニティバス平日1便あたりの利用者数		路線 人	7 9	7 9	7 9			
9				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
10				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
11				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
12				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
13				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
14				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
15				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
16				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
17				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								
18				事業費 一般財源	千円						
		成果指標	ア								

重点施策に関する事業